

令和4年第4回定例会一般質問通告事項

9 月 9 日	岡村 隆 議員 ( 公 明 党 )	質問方式:一問一答方式
	<p>1 投票率の向上について          今回の参院選の投票率は全国で52.05%、尾道市は46.77%と全国平均を大きく下回った。一人でも多くの有権者の皆さんが投票所に足を運ぶように取り組みを強化すべきである</p> <p>(1) 投票所のバリアフリー化について          このことが充分に実現していないことが、高齢者の方が投票に行かれない理由として多く上がっている。現在の投票所のバリアフリー化の現状と今後の計画を伺う</p> <p>(2) 期日前投票推進の工夫について          選挙はがきの裏面に宣誓書を印刷していただいていた以来、やりやすくなった、とのお声を多く頂いているが今回の参院選での工夫内容と成果、今後の取り組みを伺う</p> <p>(3) 若者の投票率向上について          ア 高校での主権者教育が本格的に始まっているが、小中学校からの段階的な取り組みの必要性が指摘されている。本市における現在の取組状況・成果また今後の取り組みについて伺う          イ 先日尾道市議会が開催した第1回学生議会は20名の学生議員が、若者らしい斬新な視点から本会議場で堂々と質問を行った。学生議員にとってかけがえのない体験になるとともに、若者の主権者意識を高めるうえで非常に意義深い活動であると思うが、今回の学生議会開催についてどのように評価しているか</p> <p>2 部活動の在り方について          (1) 各学校によりクラブ活動を取り巻く状況は、さまざまだと思うが、特徴的なことがあればご紹介願いたい          (2) 「部活動指導員」の、これまでの任用状況、役割について伺う          (3) 本年6月には、尾道の中学校で「部活指導員」の任用が進んでいない、との報道がなされたが、事実か。そうだとしたらその理由をどのように分析しているか。またそれを踏まえての今後の取り組みはいかがか</p>	

<p>9 月 9 日</p>	<p>(4) スポーツ庁、文化庁の各有識者会議から提言された、「部活動の担い手を「教員」から「地域人材」へ移行」について、今後の検討課題についてどのように認識し、それを踏まえて今後どのように進めて行くか</p> <p>3 学校の徴収会計業務について 市立の学校の元職員が業務上横領で逮捕された事件について</p> <p>(1) 事件の概要、原因、具体的な再発防止策について伺う</p> <p>(2) 今回横領されたお金は、教材購入費として保護者から徴収された「学校徴収金」という理解でよいか。また今回被害を受けた金額の補填は今後どのようになされていくのか</p> <p>(3) 全国的には、教材購入費などの「学校徴収会計業務」について、その事務処理の負担を軽減するための「公会計化」が議論されているが、「公会計化」とはどのようなものであり、それが実現すれば、具体的には現状どのような形態から、どのように変わるのか。メリット、デメリットについても伺う。また今回の件を機に本市においても「公会計化」の導入を検討してはどうか</p>
----------------------------	---